

宮崎県巡回アカデミーの実施について (公益財団法人宮崎県市町村振興協会との共催)

市町村アカデミーでは、様々な事情によって千葉の本学での研修受講が困難な地域の要請等により、当該地域に赴き、高度で専門的なカリキュラムを短期研修として提供する「巡回アカデミー」を平成27年度より年に2回実施しています。

令和4年度は、第1回目を7月に島根県松江市で開催し、第2回目は10月18日（火）から20日（木）までの3日間の日程で、宮崎県宮崎市にある宮崎県自治会館3階大会議室において、宮崎県市町村振興協会との共催で、「児童虐待防止セミナー」の研修を行いました。宮崎県での開催は、令和2年度・3年度と2年連続で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期となっており、三度目の正直での開催に至ることとなりました。



才村 純氏

18日（火）は開講式の後、「児童虐待事例の初期対応～アセスメントの実践」と題して、東京通信大学名誉教授の才村純氏から、児童虐待の初期対応についてご講義をいただき、事例演習を用いてグループワークを通じたアセスメントを体験しました。受講生からは、「様々な意見を出し合い、自分になかった新しい見解に気付いた」、「グループワークでの情報の読み解きで少しずつ異なる部分もあり興味深かった」などの感想が寄せられました。

次に、「児童を虐待から保護する法的仕組みと裁判の動向」と題して、福岡市子ども総合相談センター課長で弁護士の久保健二氏から、子どもを守る法律の仕組みについて、根拠法令や最近の裁判の動向を交えながら、ご講義をいただきました。受講生からは、「法律の立場に立った研修は初めてだったがより深く学びたいと思った」、「根拠法令に沿って説明していただいたので考えを深めることができた」などの感想が寄せられました。



久保 健二氏



秋山 千枝子氏

19日（水）は、「子ども虐待による死亡事例等の検証報告から学ぶ」と題して、あきやま子どもクリニック院長の秋山千枝子氏から、実際の死亡事例報告を取り上げ、幼少期における子どもからのサインや留意点などについて、ご講義をいただきました。受講生からは、「死亡事例報告には様々なエッセンスが埋まっており、今後の対応の参考になった」、「あと少しこうしとけば、もしかしたら、と考えさせられた。今自分で対応しているケースを再度チェックしたいと思った」などの感想が寄せられました。

次に、「子ども家庭支援と虐待防止～市町村に求められる役割～」と題して、西南学院大学人間科学部社会福祉学科教授の安部計彦氏から、ドイツでの子育て支援システムの紹介や、事例から学ぶ虐待予防と子育て支援について、ご講義をいただきました。

最終日の20日（木）は、「課題演習（討議・発表・講評）」と題して、指定された3つのテーマから、班ごとに1つを選択し、課題解決に向けて討議・発表し、前日に引き続き安部計彦氏からご講評をいただきました。受講生からは、「他市町の現状を聞き、自分の市を振り返ることができ、今後取り組みたいことが見えてきた」、「テーマごとの先生の講評がとても参考になった」などの感想が寄せられました。



安部 計彦氏